

<別紙 事業評価分析、目標内訳書一覧>

手法	項目	重点目標名	新規または既存の別	事業名	事業の目的及び概要	対象者		優先順位	データヘルス計画重点目標	実施計画			目標(達成時期:平成29年度末)	
						年齢	対象者			27年度	28年度	29年度	アウトプット(事業実施量)	アウトカム(結果)
ポピュレーションアプローチ	健診	A 40歳からの特定健診受診率向上	既存(法定)	受診促進	特定健診(継続)	【目的】40歳からの特定健診の受診率向上、加入者の健康維持。生活習慣病の早期発見・早期治療。 【概要】メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握およびリスク者のスクリーニング。広報や実施機関等と工夫する。がん検診とセットで実施。土日健診の実施。人間ドックとセットで実施。	40 ~ 64	宇多津町国保被保険者で、40~74歳の男女特定健診対象者(そのうちの、左記年齢階層)	○	継続	継続	継続	健診受診の促進(受診率60%)	生活習慣病予防等、受診者の健康維持(該当者・予備軍の減少率25%)
		B 特定健康、特定保健指導の受診勧奨				【目的】特定健診の受診率向上、加入者の健康維持。介護予防。生活習慣病の早期発見・早期治療。 【概要】メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握およびリスク者のスクリーニング。広報や実施機関等と工夫する。がん検診とセットで実施。土日健診の実施。人間ドックとセットで実施。	65 ~ 74		○	継続	継続	継続	同上	生活習慣病予防等、受診者の健康維持(該当者・予備軍の減少率25%)
		健康診査				【目的】健康維持・増進、介護予防。生活習慣病の早期発見・早期治療 包括支援センター等と連携し、介護予防事業等を通じての広報、啓発	75 ~		-	継続	継続	継続	同上	生活習慣病予防等、受診者の健康維持(減少率25%)
		既存(法定)	未受診者対策	特定健診(未受診)	【目的】特定健診の受診率向上、加入者の健康維持。 【概要】メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握およびリスク者のスクリーニング。広報や実施機関等と工夫する。未受診者に対して案内を送付。土日健診の実施。広報を使用し勧奨を実施。	40 ~ 64	○		継続	継続	継続	健診受診の促進(受診率60%)	生活習慣病予防等、受診者の健康維持(予備軍の減少率25%)	
					【目的】特定健診の受診率向上、加入者の健康維持。介護予防。 【概要】メタボリックシンドロームに注目した健康状況の把握およびリスク者のスクリーニング。広報や実施機関等と工夫する。未受診者に対して案内を送付。土日健診の実施。広報を使用し勧奨を実施。	65 ~ 74	○		継続	継続	継続	同上	生活習慣病予防等、受診者の健康維持(予備軍の減少率25%)	
				健康診査(未受診)	【目的】健康維持・増進、介護予防。 【概要】広報や実施機関等と工夫する。未受診者に対して案内を送付。包括支援センター等と連携し、介護予防事業等を通じての広報、啓発	75 ~	-		未実施	-	-	-	-	
	保健指導	既存(法定)	特定保健指導(未改善者)	特定保健指導(新規)	【目的】特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善。 【概要】メタボリックシンドロームの減少を目的に、保健指導を実施。保健指導は外部業者に委託し、町の教室と連携しながら実施。	40 ~ 74	○	継続	継続	継続	実施の促進(30%)	生活習慣病予防等、受診者の健康維持(予備軍の減少率25%)		
					【目的】特定保健指導の実施率向上、生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善。 【概要】メタボリックシンドロームの減少を目的に、保健指導を実施。保健指導は外部業者に委託し、町の教室と連携しながら実施。	40 ~ 74	○	継続	継続	継続	同上	生活習慣病予防等、受診者の健康維持(非該当率40%)		
					階層外の保健指導	【目的】生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善、介護予防。 【概要】栄養相談、健康相談等の際に実施。広報で啓発。	40 - 74	-	継続	継続	継続	対象者へ実施(100%)	自らの健康状況・生活習慣改善の必要性の理解(50%)	
		既存	健診を受けていない人への保健指導	【目的】健康維持・増進、介護予防等。 【概要】機会がある毎に対象者に介入している。	40 - 74	○	継続	継続	継続	実施の促進(30%)	生活習慣病予防等、受診者の健康維持(非該当率40%)			

手法	項目	重点目標名	新規または既存の別	事業名	事業の目的及び概要	対象者		優先順位	データヘルス計画重点目標	実施計画			目標(達成時期:平成29年度末)	
						年齢	対象者			27年度	28年度	29年度	アウトプット(事業実施量)	アウトカム(結果)
ポピュレーションアプローチ	広報	D その他(健康教育等)	既存(法定)	機関誌発行	【目的】情報発信、健康意識の醸成。 【概要】全世界に広報紙を配布(教室の案内等の周知)。国保だより(医療費適正化等に関するもの)送付。全世界に健診案内の送付(特定健診、後期高齢者健康診査、総合健康診査、人間ドック、がん検診、その他の健診)各種健康教室案内を配布。国保被保険者に対して健康カレンダーの配布。	-	全住民	中	-	継続	継続	継続	全戸配布(対象者の100%)	-
				個別的情報提供ツール	【目的】加入者の健康意識の醸成、自発的な健康の維持・改善行動の促進。 【概要】本人の健診データに基づく個性を重視した「情報提供」を実施する。各種健康相談の際に実施。			中	-	継続	継続	継続	対象者へ情報提供の実施(100%)	自らの健康状況・生活習慣改善の必要性の理解(50%)
	既存	若年者の生活習慣病	【目的】若年者への正しい生活習慣・生活習慣病予防の普及活動、生活習慣病の予防啓発促進 【概要】学校教育の現場、講演会・セミナー等で啓発。			中		○	継続	継続	継続	-	-	
		若年者の検診	【目的】若年者への特定健診以外の健(検)診等拡充、がん予防啓発や受診促進。 【概要】肺がん、大腸がん、胃がん、子宮頸がん、乳がん検診の実施。→対象年齢を引き下げ、若い人も受診できるようにしている。健診項目を組み合わせ受診できる。託児。男女で問診するスペースを区別する。子どもの健診の際に案内を実施。詳細は、子宮がん検診については、対象を20歳からとし「若年層のがん検診受診行動の意識付け」「がん後発年齢に対し、がんの早期発見と早期治療」を図っている。結核・肺がん検診で喀痰、肺機能検査追加。子宮がん検診でHPV、乳がん検診で超音波など内容を年齢により拡充。その他、人間ドック、歯周病予防検診(40~69歳)、肝炎ウイルス検診(41・46・51・61歳)妊婦歯科健診がある。学校教育の現場、講演会・セミナー等で啓発。			-	対象者	高	○	継続	継続	継続	実施の促進(30%)	-
重症化予防・疾病予防	C 歯周疾患検診の受診率向上	E 糖尿病、腎臓病の重症化予防		【目的】「歯周病が糖尿病の合併症である」ことを基礎とし、糖尿病予防対策の一環として歯周病予防対策を行う。 【概要】KKDA機能に基づく歯科受診勧奨票の送付。歯科保健指導票の送付。特定健診質問票中の歯科質問によるスクリーニングにより抽出した対象者に実施				高	○	継続	継続	継続	同上	-
				糖尿病重症化予防	【目的】糖尿病患者の早期発見・重症化予防 【概要】KKDA機能に基づくレベル0者の把握、受診勧奨。			高	○	継続	継続	継続	糖尿病、腎臓病を防止するアプローチにより平成29年3月診療分まで上位10件までの高額なレセプトの目標比率を、平成27年11月診療分を基準とし30%とする。	-
			【目的】糖尿病患者の早期発見・重症化予防 【概要】KKDA機能に基づく治療中断者への受診勧奨票送付。保健指導。コントロール不良者への訪問。糖尿病レセプトを有し特定健康診査受診者でコントロール指標による階層化を経た対象者のうちの治療中断者に受診勧奨。	40 ~ 70	40~74歳の男女クレアチニン検査受診者・宇多津町国保被保険者を中心とした男女歯周疾患検診対象者対象者	高	○	継続	継続	継続	同上	-		
			【目的】慢性腎臓病患者の早期発見・重症化予防 【概要】KKDA機能に基づく受診勧奨票の送付。保健指導票の送付。			高	○	実施	継続	継続	同上	-		
上記以外	重症化予防・疾病予防・医療費適正化	F 胃がん、大腸がん検診の精密検査未受診者への勧奨、訪問等		がん検診精密検査	【目的】がんの予防・早期発見、がん知識の啓発・普及 【概要】検診の受診を促し、精密検査未受診者への受診勧奨を医療機関と連携して行う。	40 ~ 70	40~74歳の男女がん検診受診者	高	○	継続	継続	継続	年度末の要2次検診者残数の割合(30%)	-
				G 頻回、重複受診、長期入院者対策	重複、頻回受診、長期入院者対策事業	【目的】医療費適正化、頻回、重複受診、長期入院者の受診行動適正化 【概要】重複・頻回受診者の抽出。対象者訪問指導。	-	多受診、重複受診、長期入院者	中	○	継続	継続	継続	-
		H 慰留費通知とジェネリック医薬品(後発医薬品)差額通知		後発医薬品の差額通知	【目的】後発医薬品の使用促進、調剤医療費の適正化。 【概要】一定額以上削減ができる者に対して差額通知を送付。(毎月)	-	対象者	中	○	継続	継続	継続	使用率(30%)	-